



営業QQ



Wechat(微信)

—目次—

1面	旅行社の声
2面	1000万人達成への【お祝いメッセージ】
3面	一般情報
4面	壹友からの声 & マーケット情報

現地旅行社からの声

中国旅行社は【国家旅遊局から「旅遊法」に関する一部緩和の通達(第35条)】への関心が強い

昨年10月から施行された「旅遊法」で最も重大な内容(ショッピング施設への案内、及び、オプションツアーの販売禁止)を反映した第35条に関して、中国各地の旅行社と行政機関が法的な解釈を巡って大混乱となった。

そのため、国家旅遊局は、混乱を収束させる目的で、法の解釈を規定する通達を発表した。

この通達により、大きな混乱は収まり、ツアーに参加するお客様、中国旅行社、観光施設、ショッピング施設の全てにとって良い影響が出ると歓迎されている。

通達内容の要旨・ポイントは、下記の通り。

①条件付きで、ショッピング施設への案内が可能へ。

旅行社と参加顧客が書面にてショッピング施設への案内に関して合意が出来た場合、案内することが可能となった。

「旅遊法」施行後、旅行社が参加顧客から「優良な百貨店やアウトレットへ案内して欲しい」といった、リクエストに一切対応しないといった事例が多発したため、法の解釈を緩和させた。

ただし、原則、案内したショッピング施設からのショッピングコミッションの收受は禁止としている。

②ショッピング施設からのコミッション收受についての詳細規定

ショッピング施設からのコミッション收受の禁止というのは、通常の商慣習における合法的な販売手数料を禁止するということではなく、参加顧客に対して詐欺や脅迫まがいの手段で買物を無理強いすることを禁止している。

法律で禁止される行為を具体化にし、合法的な営業行為を法律で認める旨が伝えられた。

旅行社と商業施設が如何に運用するかが課題になっている。

※ただし、案内した添乗員・観光ガイドへ直接コミッションを渡す行為は全面的に認められない。

③「不合理な廉価ツアー」の認定基準を規定

旅行業協会が認定した最低販売価格より安いツアーや、明らかに仕入値を下回る廉価ツアーの設定は、合理的な理由がない場合、「不合理な廉価ツアー」として罰則の対象となると規定している。

※なお、自治体等の誘致目的の助成金等を活用して販売価格を安くしているツアー等については、「不合理な廉価ツアー」とはならない。

2013年・訪日外国人数 1000万人達成！！

～お祝いメッセージ～

上海

上海中婦旅国際旅行社有限公司 魅力假期 総経理 季衛東さん

日本は大変魅力的な旅先です。
今後、更にたくさんの外国人が訪れると思います。
中国からたくさんお客様を送客するように頑張ります！



上海強生国際旅行社有限公司 総経理助理 項心江さん

1000万人達成、おめでとうございます！
中国からの送客をより一層増やしますように頑張ります。



上海中国青年旅行社 副総経理 周迎風さん

一千万の【お・も・て・な・し】、一千万人の【収獲】



青島

青島華青国際旅遊有限公司
総経理 李恕さん

すごい目的の達成、
おめでとうございます！

青島の人々は日本の海が好きなので、もっとたくさん送客したいです。



北京

北京德宝国際旅行社有限公司 総経理 孫波さん

訪日人数1000万人の達成に対してはまずおめでとうございます！
と心より申し上げたいと思います。今後も中国人の訪日も含み
お互いの努力および工夫を通して、次の1000万人、更に3000
万人に、遠くないうちに次々に達成するよう、心より願っております。



中青旅日本 北京事務所 経理 張華さん

1000万人というのは著しい成果ですね！
でも、もっと中国の皆さんに日本の素晴らしいところを見せたいです！
～一緒に頑張らしましょう！～



成都

成都海外旅遊有限責任公司
総経理 管和玉さん

1千万人の達成、
おめでとうございます。

観光庁と日本の旅行関係の皆さん、
ご苦勞様でした。



広州

広州広之旅国際旅行社有限公司 経理 秦蓓さん

1千万人、おめでとうございます。
来年はもっと頑張ってください。



広東鉄青国際旅遊有限公司 出境部部长 何威さん

訪日外国人人数1000万人越え、おめでとうございます。
2000万人到達まで、更に頑張ってください！



貴州

貴州中国青年旅行社有限公司
日本部部长 姚武強さん

中日の友好のため、民間の交流として、貴州省中国青年旅行社も
中国観光客を日本へ送客、日本観光客を貴州省へ誘致するために

一生懸命に頑張りたいです！
訪日人数1000万人到達の際、お
めでとうございます！



杭州

杭州招商国際旅遊有限公司 副総経理 林炯秋さん

1千万人突破、おめでとうございます！
訪日観光事業のますますのご発展を祈念いたします。



大連

大連中国国際旅行社 日本游担当部長 社長松さん

中日旅行業務の拡大と発展を祈念いたします。



Friendly Japan

◆「春秋航空、吉祥航空」同時に浦東から台北桃園への便が開通

12月1日、上海の2社の民営航空会社「春秋航空と吉祥航空」は同時に浦東国際空港から台北桃園への便を開通した。ローコストの航空が兩岸航空マーケットに入ることに伴い、兩岸航路チケットの価格は大幅に下がります。

春秋航空が開通した台北航路は毎週の月曜日、火曜日、木曜日、金曜日、日曜日に5便の往復便があり、180座席のA320が旅客機として運送任務を担当しています。格安チケットにて上手な春秋航空が携帯端末によって最低価格199元(税別)のチケット、公式サイトに最低価格430元(税別)のチケットを提出しました。以前よく変更があった2000元~3000元のチケットより大幅に下がり、兩岸の旅客も本当な優遇を得ました。

また、吉祥航空では、中国台湾のツアーがセットになったパッケージチケットを用意しました。機内では、閩南語のアナウンスを行ったほか、「滷肉飯」や「焼きビーフン」などご当地グルメも提供し、旅客様のために満足できる空中体験を作りました。

(出先: 12/2日付け 中国上海網 訳: 壹友)

◆上海空港の旅客取扱量が初めて8000万人を迎えた

2013年12月20日、上海空港の旅客取扱量が初めて8000万人に達成しました。浦東・虹橋二つ空港を持っている上海は世界中で7番目の旅客取扱量が8000万人を突破した都市となった。

上海の航空輸送量は既に世界級の空港の列に入った。中国および上海エリア経済の発展に伴い、2004年から2013年の10年間、虹橋、浦東空港の航空便数は32.95万機から61.48万機に増え、年間の旅客取扱数も3591.109万人から8274万人に増え、貨物輸送量は193.62万トンから334.9万トンに増えた。上海の旅客と貨物取扱量は、それぞれ世界の7位と3位を占めたという。

(出先: 12/20日付け 民航資源網 訳: 壹友)

◆上海春秋航空が日本の国内線就航へ

中国・上海市に本社を置く格安航空会社春秋航空(LCC)は中国でLCCのノウハウを積み上げ、そのビジネスモデルを日本でも応用しようとしている。日本国土交通省はこのほど、春秋航空日本法人に事業認可を与え、国内線の運航を許可した。第一財經日報が報じた。

同社は2010年に、中国の民営航空会社としては初めての国際線、上海浦東-茨城線を就航し、その後、高松や佐賀でも就航した。同社は二年前も日本に航空会社を成立することを計画して、目前登録された日本会社はIT業界や商社、旅行業界など日本の複数企業と合併で日本法人を設立したものだ。春秋航空が株式の33%を保有している。

記者によると、日本の国内線はまず成田-高松、成田-広島、成田-佐賀を軸に、来年5月の就航を目指している。

注目されるのは日中路線は昨年9月以降、両国関係の悪化などで不振に陥っており、中国の航空会社は路線縮小や機材小型化などを余儀なくされている。

経済危機や業界低迷期には、LCCは逆に健闘していて、すでに26%のシェアを持っており、欧州では35%に達していて、15%のアジアを超えた(南アジアには58%に達したが、北アジアにて8%だけ)。南アジアや中国では既存の航空会社もLCCへの参入に関心を示しており、ジェットスターやエアアジアのLCC大手も他の国で合資会社を作って路線拡大を図っている。

(出先: 12/19日付け 第一財經日報 訳: 壹友)

【旧正月「春節」の営業体制にご注意を！】

今年の中国旧正月（春節）が1月31日になる。

なぜか今年は7年間続いた「除夕」（春節前日、旧暦大晦日）の公休が廃止され、旧暦元日から7日間の連休となった。（1月31日～2月6日）

実際、中国人は「除夕」の夜は必ず家族団らんで、一緒に夕食を食べる習慣「年夜会」がある。

都会に出稼ぎに来た農村地の労働者は、数時間から十数時間の移動をしなければならないため「年夜会」に間に合わなくなりそうだ。

中国の公休を定めた「国家假日弁公室」の説明によると、「国が公休と定めなくても、春節前日の除夕は、実際には各企業は自ら休んでいるのが普通であり、敢えて公休に設定したら浪費に繋がる」という。

一方で、中国の巨大な人口流動（人民大移動）に対して全く対応しきれない鉄道などの交通機関が頼りにならないため、公休前に休みにしている企業もたくさんある。

国家が定めた公休は1/31からの7日間であるが、1月中旬から、出社人数が日増しに減っていく。帰省の切符が取れないため有給休暇を利用したり、欠勤しても田舎に帰らなければならない人がいる。

最終出勤日まで頑張った社員も、社内での出社人数が少ないため、頭の中は春節の過ごし方ばかり考えているようだ。

よって、中国関連の仕事に携わる方は、出来るだけ1月15日までには中国側との処理を済ませたほうが無難のようだ。そうしなければ、2月10日頃まで回答が来ないことも覚悟しなければならない。

タイムリー 中国マーケット情報

◆団体

元旦は1日しか休暇ではないため、近郊旅行が中心である多い。一方、春節は7日間の連休があり、学校が3週間の冬休みになるため、家族連れや遠地への海外旅行が盛んだ。また、春節は寒い時期なので、東南アジアやビーチリゾート地が人気の訪問地になっている。一方、日本・北海道へのスキー体験ツアーも好評だ。

しかし、出発日はどうしても春節（1月31日）以降となることが多い。理由としては、大晦日の夜に家族と一緒に家でご飯を食べる「年夜飯」の習慣があるためだ。そうした中で、価格に拘る人は「年夜飯」を犠牲にして、春節前に割安ツアーへ参加するケースも増えてきている。

◆FIT

個人旅行ブームがますます広がっている。インターネットで攻略を集めて、2-3ヶ月前から査証申請をして自分でネットからホテルを予約する人も多い。（ただし、訪日旅行の場合は、査証申請～手配が旅行社に依頼するケースが多い。）現地での移動は、公共交通機関を利用したり、物価が安い国では車をチャーターしたりしている。

しかし、どうしても不可欠なものは、いつでもどこでも使えるポケットWi-Fiだ。旅先でも地図情報や施設情報を検索して行動することが非常に増えてきている。また、微信や微博を利用して旅先の情報を友達に送信する傾向も高い。

◆商品造成

成熟しつつある中国の旅行業界では、最近、ツアーの行程表が【滞在時間●時間】から【●時●分～●時●分 XX見学】等の記載へ変化している。従来までのアバウトなサービス案内から、どんどん綿密で丁寧になっている。

今後、FITが増加するにつれ、更に顧客満足度志向へ変貌していくと思われる。

株式会社フレンドリージャパン

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町14-6 黒松ビル501

TEL 03-6416-5505 FAX 03-6416-5515

E-mail madoguchi@friendlyjp.com HP <http://www.friendlyjp.com/>

